

■ 巻頭言

8 第一次世界大戦百年に考える  
冷戦後の国際政治秩序  
三谷太一郎 日本学士院会員 東京大学名誉教授

■ 巻頭論文

10 引越してできない国の危機を回避するために  
岡本行夫  
岡本アジヤツ代表 M-I 国際研究センター シニアフェロー

■ 特集

# 日本外交 未知との遭遇

- 16 総論「調和崩壊」後の世界を  
考えるために
- 20 パックス・アメリカーナの  
終焉後に来るべき世界像  
クリストファー・レイ  
テキサスA&M大学全学特別教授
- 解題
- 26 アメリカの大戦略を解析する  
佐橋亮 神奈川大学准教授
- 32 アルカイダの夢  
2020年世界カリフ国家構想  
池内恵 東京大学准教授

- 38 なぜ韓国は中国へ接近するのか  
武貞秀士 拓殖大学海外事情研究所客員教授
- 44 歴史認識が接近を促す  
朴 喆熙 ソウル大学国際大学院教授兼日本研究所所長
- 50 東アジアの核秩序に変貌の足音  
韓国を突き動かす「再処理」願望  
太田昌克 共同通信編集委員
- 54 迫りくる  
自律型ロボット兵器の時代  
高坂哲郎 日本経済新聞編集委員
- 58 「三大通貨」は視野に入るか  
「鎔光養晦」で米ドルを牽制する人民元  
吉岡桂子 朝日新聞編集委員

■ 提言

- 122 東アジアの構造変動と新思考外交  
田中均 日本総研国際戦略研究所理事
- 152 古典読みかえし  
日本思想大系56『幕末政治論集』  
御厨貴 放送大学教授 東京大学客員教授
- 98 追悼・ネルソン・マンデラ氏  
緒方貞子 国際協力機構(JICA)特別顧問

■ 特別企画

# 日本版NSCと 中国の挑発

- 64 変わる戦略環境  
「安保」と「歴史」が混在する危うさ  
鈴木美勝 時事通信解説委員
- 68 谷内・初代国家安保局長に聞く  
「為せば成る」の精神で取り組む  
谷内正太郎 国家安全保障局長
- 78 中国「防空識別圏」の  
狙いは何か  
高原明生 東京大学教授
- 80 「積極的平和主義」の  
実践に不可欠な司令塔  
北岡伸一 国際大学学長 政策研究大学院大学教授
- 87 国家安全保障会議(日本版NSC)  
の仕組みと機能  
吉崎知典 防衛研究所理論研究部長
- 92 日本を「狙い撃ち」した  
「東シナ海防空識別区」  
永岩俊道  
双日総合研究所 首席客員研究員(元航空自衛隊空将)
- 一点観
- 100 朴裕河氏の『和解のために』再読  
久保田るり子 産経新聞編集委員

Viewpoints

- 106 軍優位エジプトで試される  
民主化への道  
布施広 毎日新聞専門編集委員
- 110 経済危機が押し上げた指導者 習近平  
津上俊哉 現代中国研究者 津上工作室代表
- 116 日ロ「2プラス2」で読み誤っては  
いけないロシアの真意  
ヴァイクトル・クジミン  
ロシア科学アカデミー極東研究所 日本研究センター上級研究員
- 連載
- 97 アメリカ政治アネクドット  
小谷部一郎 在米ジャーナリスト
- 121 Cartoon says it all  
マンガをみれば世界がわかる  
西川恵 毎日新聞専門編集委員
- 130 外務省研究「プロの復讐」  
密使若泉敬との絆 谷内正太郎
- 134 音楽と外交  
ヴェルディ「歌劇『ナブッコ』」  
小栗勘太郎 音楽愛好家
- 136 ニュース裏読み深読み  
オバマ外交 タガが外れたか?  
河内孝 ジャーナリスト
- 140 映画と戦争  
「八月の砲声」を思い出す年  
伊奈久喜 ジャーナリスト
- 146 苦言賞  
日中・日韓関係を考える  
橋本五郎 読売新聞特別編集委員
- 148 外交の要諦  
小倉和夫 青山学院大学特別招聘教授
- 154 書評  
「演劇的技法」から  
冷戦期の英国外交を  
分析する  
村田晃嗣 同志社大学学長
- 160 グラスルーツ発 外交の架け橋  
工藤泰志 言論NPO代表
- 162 WORLD NEWS  
「血の粛清」で独裁強化  
萩原大輔 時事通信ソウル特派員
- 164 Peliscope 北朝鮮を読む  
磯崎敦仁 慶應義塾大学専任講師